

## 第12回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

### 1. 日 時

平成23年6月29日(水) 午前10時00分～午前11時00分

### 2. 場 所

箕面市役所 委員会室

### 3. 出席者

#### (会 長)

・箕面市副市長 伊藤哲夫

#### (副会長)

・箕面市地域創造部専任理事 広瀬幸平

#### (監 事)

・街づくり支援センターみのお 清田栄紀

・箕面商工会議所専務理事 松出末生

#### (委 員)

・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦

・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登

・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部長 上村正美

(代理出席) 都市交通計画部部長 庄 健介

・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山 哲

・阪急バス労働組合副執行委員長 勝 正雄

・みのおの交通を考える会 永田よう子

・粟生第二住宅自治会副会長 松本暁美

・分科会の副分科会長 井上 整

・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士

・共同企業体SSOK組合管理本部長 横山吉広

(代理出席) 管理本部顧問 淵上信夫

・東急不動産SCマネジメント株式会社箕面マーケットパークイワ総支配人 滝川隆文

・株式会社ビバーレコードビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春

(代理出席) Bb 箕面船場店 店長代理 横木昌平

・学校法人大阪青山学園事務部経理課長 福田貴夫

・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭

・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(総務企画) 高橋眞一

・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(輸送) 井上景之

・大阪府都市整備部交通道路室参事 藪内生死

・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治

・大阪府池田土木事務所維持管理課長 山本公一

・箕面市健康福祉部長 小野啓輔

・箕面市地域創造部長 小泉正己

- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 浪越祐介（オブザーバー）  
（代理出席）交通企画課課長補佐 杉本昌弘

（欠席）

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 新田保次
- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木 亮
- ・箕面市みどりまちづくり部長 山田 学
- ・大阪府箕面警察署交通課長 門中基次
- ・箕面市市長政策室長 具田利男
- ・箕面市教育委員会事務局教育次長 中井勝次
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 阪部光雄（オブザーバー）

以上、委員32名のうち25名出席、オブザーバー1名欠席。

#### 4. 議題

- （1）分科会規程の改正について
- （2）市民意見の募集結果について
- （3）運行見直し（案）について
- （4）見直し運行開始までのスケジュールについて
- （5）その他

#### 5. 議事要旨

##### （1）分科会規程の改正について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

##### （2）市民意見の募集結果について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

市立病院へのアクセスについて、どのような検討を行ったか具体的な説明がほしい。

運行見直し（素案）作成時においても、自治会から要望が寄せられ、北側の入り口からのアクセスに変更、また、みのおライフプラザや阪急バスのバス停位置への変更、曜日によって乗り入れしないことなどについて検討を行い、効率性、乗車快適性などの観点から変更は行わないこととなった。しかし、今回の市民意見において再び同様の意見が提出されたため、再度検討を行った。その結果、乗り入れは必須という意見が多く、また、曜日ごとにバス停位置を変更することは、利用者の混乱を招くとして、現行のままのアクセスとなった。

現在、自治会からの意見・要望であるブレーキ音の騒音問題や排気ガス問題などについてはブレーキ機器の交換やアイドルリング・ストップ・システム（停車時に自動でエンジンが停止するシステム）を導入するなど、また、土・日・休日・祝祭日の一般車両の進入規制対策として、電動ゲートを設置したり、平日の運行時間については、できる範囲のダイヤ設定で対応している。

緑ルートの池田市内を走るルートについて、なぜ箕面市内を走れないのか、説明を十分にしてほしい。

ルート検討にあたっては、阪急バス同行のうえで現地調査を行い、一般車両同士ではすれちがいなど可能であっても、安全面、定時制の確保の観点から乗合バスにおける運行は困難であることから、やむを得ず、池田市内を走るルートとしている。

池田市内を走るルートについて、バス停を設置する予定なのか。また、9月の見直しで実施する予定なのか。

まだ池田市との協議は行っていないが、利用者の利便性が向上するのであれば、協議をしたいと考えている。

池田市との協議が整ったとしても、阪急バスとの協議も必要となり、その後、地先協議、警察協議となることから、今回の9月の見直しでは難しい。

池田市内にバス停を設置する場合、池田市も協議会に参加する必要があるのか。また、時刻表などを池田市民に配布するのか。

近畿運輸局と相談し、検討したい。

池田市民に時刻表全戸配布は難しい。バス停にわかるような工夫をすべきだと考える。阪急バスとの協議もあるため、総合的に検討したい。

### (3) 運行見直し(案)について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

今回の見直しでは5ルートから3ルートとなることで、これまで乗継割引が利用できていた人が、同じルートとなることにより、一度下車すると乗継割引が利用できなくなる人も出てくるのではないかと。

ルートを合体したので、乗継がなくても1つのルートでいけるようになる場合が増加したので、利便性は向上すると考えているが、別ルートへの乗継割引は継続実施する。また、同じルートでも別ルートでも何度も乗り降りできる一日乗車券の導入を検討している。

一日乗車券の金額はどうなるのか。

安ければ安いほど利用者にとっては良いが、オレンジゆずるバスを持続的に運行していくために、収支、利用促進、両方の観点を踏まえた値段設定を検討する。

一日乗車券の実施はいつからか。

今回の運行見直しでは難しい。販売方法として、車内販売が最も利便性が良いが、その際に運転士の業務が増加することで、安全運転などについて支障が出ないかを踏まえなければならないため、阪急バスと協議し、導入に向けて検討していく。

ベンチの設置について、手続き無しで不法占用となるようなことはないようにしてほしい。歩道幅が狭いところでも、バー型のベンチの設置は可能である。

広幅員の歩道は少ないため、設置については公共施設や民間施設に協力を仰いで設置検討をしていきたい。

不法に置かれるものについては、各道路管理者と対策を相談したい。

### (4) 見直し運行開始までのスケジュールについて

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

これまでいくつかバスマップや時刻表が配布されているので、今回の見直しでのバスマップがどれなのかがわかるようにしてほしい。

昨年度の運行開始時には、オレンジゆずるバスの利用方法などについても送付していたが、今回は、5月の見直し時に送付したような、表に大きく新しいマップであることを表示した封筒にいれて、マップ・時刻表の一式の配布などを検討している。

箕面駅のデジタルサイネージが開館の時間が限られる交通案内所（駅湯）の施設の中なので、外の道路に設置してほしい。

駅前の歩道にデジタルサイネージを設置する予定であり、警察協議を進めているが、大阪府下で初めてということもあり、協議に時間を要している状況である。設置の方向で協議が整いつつあり、8月までには設置する予定である。

**（５）その他（利用促進策のトータルコーディネートについて）**

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

以上